



令和8年8月21日開催

# 財務局キャラバンin奈良



令和8年10月14日号  
近畿財務局  
奈良財務事務所 /  
理財部主計第2課  
KINZAI NEWS  
Vol.168

## 財務局キャラバンとは

我が国の財政の現状等を広く国民の皆様に理解していただくことを目的に、財務省の主計局幹部が全国各地へ出向き、財政講演等を実施するもの。

平成24年度から実施しており、今回で14回目の開催。

## 今回は71名の参加がありました（オンライン含む）

うち、対面34人、オンライン37人

- ・企業・金融機関等 12人
- ・地方公共団体等 41人
- ・その他学生等 18人



奈良は南北に長いので、遠方の方にはオンラインで参加いただきました！

# 財政講演会

講演資料は[こちら](#)からご覧ください。



ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございます！



## 冒頭挨拶

近畿財務局奈良財務事務所長  
酒井 弘行



司会  
東口総務課長

会場は満員御礼▶



## 「我が国の財政について」



財務省主計局  
主計官（文部科学係担当）  
佐藤 隆夫

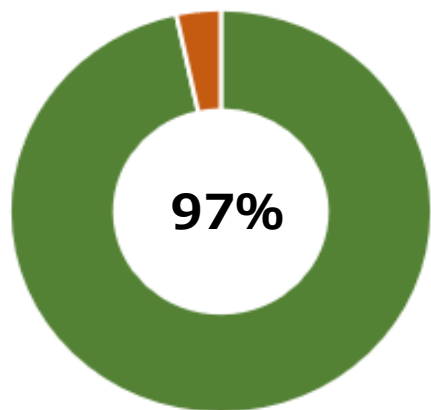
- ▶ 令和8年度における国の一般会計予算を過去と比較すると、**歳入は税収や特例国債が、歳出は社会保障費や国債費、防衛費が伸びている。**
- ▶ 国際比較で見ると、**総債務残高対GDP比は突出して高く、純債務残高対GDP比でも高い水準**にある。また、政府支出・収入を国際比較すると、**中福祉低負担**にあたる。
- ▶ **国債金利は上昇傾向**にあるが、新たに償還期限が到来した低い金利の国債から順次置き換わるため、**当面の利払費は平年度化した際の利払費よりも低い水準で済む**（今は「期間のボーナス」にある）。
- ▶ 国債は、量的・質的金融緩和により**日銀の保有割合が高まる一方、銀行等の割合は減少、海外の保有割合も緩やかに増加**してきた。他方、**2024年以降は日銀による国債買入は減少**している。今後も、財政に対する**市場の信認を引き続き維持していく必要**。
- ▶ 国・地方の債務残高対GDP比は、**追加的な財政支出を毎年10兆円と想定した場合、十分な経済成長が実現すれば、概ね安定的に低下する見通し**。
- ▶ 骨太の方針2026・日本成長戦略や令和8年度予算、税制改正等についても詳しく解説。

# アンケート



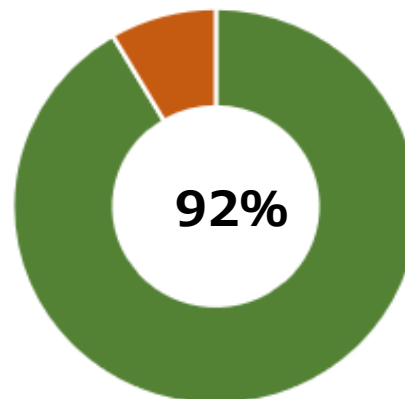
いただいたご意見はしっかり活用いたします！

## ① 講演内容



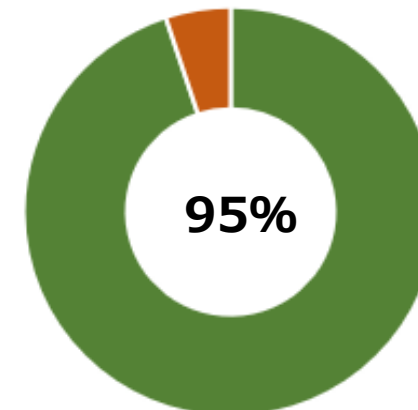
■ 有意義であった  
■ 有意義でなかった

## ② 資料の分かりやすさ



■ 分かりやすかった  
■ 分かりにくかった

## ③ 来年度以降の講演



■ 参加したい  
■ 参加したくない

▶ 上記のとおり、「有意義であった」「資料が分かりやすかった」「次も参加したい」と高評価をいただきました。

▶ そのほか、「タイムリーな話題であり、非常に興味深く聴かせていただきました」「他の財務事務所でも開催があれば是非参加したい」といった声もいただきました。

▶ 今後のテーマについても、国の予算査定のやり方や、地方財政の動向・見通しなどについても聞いてみたいと、財政政策や地方への影響への関心の高さが感じられました。

⇒奈良財務事務所では、今後もあらゆる機会を活用して、国民の皆様にとって有益となる情報を発信し、地域連携に取り組んでいきます！